

Coffee Market Report

March 2025



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

不確実性が高まる中でICO複合指標価格は下降局面にある

グリーンコーヒー価格

- ICO 複合指標価格 (I-CIP) の2025年3月の月次平均は347.85セント（米セント/ポンド、以下同様）となり、2025年2月より1.8%下落した。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの2025年3月の月次平均価格は2025年2月に対してそれぞれ1.4%と1.3%下落し404.97セントと404.02セントだった。
- ブラジルナチュラルは2025年3月に2.1%下落して392.48セント、また、ロブスタも2.1%下落して257.61セントだった。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、2025年2月の1.16セントから2025年3月は0.95セントに縮小した。
- ロンドンとニューヨークの先物市場間で測定された2025年3月のアービトラージは0.3%拡大して135.11セントとなり2022年2月以来の最高値だった。
- I-CIPの2025年3月のボラティリティは2025年2月に対して1.6ポイント上昇して12.3%だった。
- ロンドン先物市場の2025年3月のロブスタ認証在庫は、2025年2月に対して2.2%増加して74万袋だった。ニューヨーク先物市場のアラビカ認証在庫は逆方向に動きを示し、2025年2月に対して4.6%減少して80万袋だった。

コーヒーグループ別輸出力 - 生豆

- 2025年2月の生豆輸出力：
 - 生豆の輸出力は合計1,112万袋で、2024年2月の1,043万袋から6.6%増加した。
 - コロンビアマイルドの輸出力は2024年2月の110万袋から12.5%増加して124万袋だった。
 - アザーマイルドは2024年2月の184万袋から0.9%増加して186万袋だった。
 - ブラジルナチュラルは2024年2月の324万袋から2.5%増加して332万袋だった。
 - ロブスタは2024年2月の425万袋から10.7%増加して471万袋だった。

地域別のコーヒー輸出力 - 全形態

- 2025年2月の地域別のコーヒー輸出力：
 - 世界全体のコーヒー輸出力は2024年2月の1,135万袋から7.8%増加して1,223万袋だった。
 - アジア・オセアニア地域は2024年2月の395万袋から21.7%増加して481万袋だった。
 - アフリカ地域は2024年2月の110万袋から20.6%増加して133万袋だった。
 - 南米地域は2024年2月の493万袋から6.9%減少して458万袋だった。
 - メキシコ・中米地域は2024年2月の136万袋から10.6%増加して151万袋だった。

形態別のコーヒー輸出力

- ソリュブルコーヒーの輸出力は2024年2月の86万袋から2025年2月は21.5%増加して105万袋だった。
- 焙煎豆の輸出力は2024年2月の51,403袋から2025年2月は23.8%増加して63,658袋だった。

グリーンコーヒー価格

ICO 複合指標価格 (I-CIP) の2025年3月の月次平均は347.85セント（米セント/ポンド、以下同様）となり、2025年2月より1.8%下落した。I-CIPの中央値は347.69セント、価格レンジは336.32～364.20セントだった。3月を通してI-CIPは一貫して下落傾向を示したが、I-CIPの価格水準は2024年3月よりも86.6%高い。12 か月間の月次移動平均は268.30セントだった。



コロンビアマイルドとアザーマイルドの2025年3月の月次平均価格は2025年2月に対してそれぞれ1.4%と1.3%下落し404.97セントと404.02セントだった。ブラジルナチュラルは2.1%下落して392.48セント、ロブスタは2.1%下落して257.61セントだった。価格下落の主因はロンドン・インターコンチネンタル・コモディティ市場（ICE）で、2.3%下落して247.63セントだった。また、ニューヨークICE市場は1.4%下落して382.75セントだった。

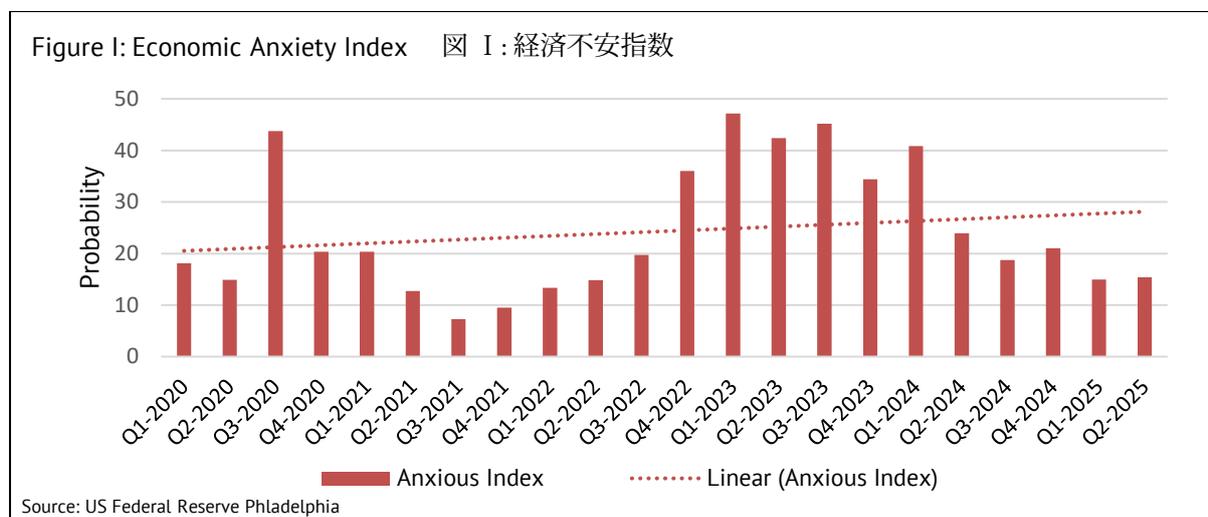
コーヒー市場には一定程度のネガティブな不確実性がもたらされており、特定のイベント、マクロ経済の出来事、地政学的要因の組み合わせにより、長い強気相場の中で一時的に下降局面が訪れている。2025年2月と3月、I-CIPは概ね下降傾向にあり、2月の第2週の初めから3月31日までの間に9.8%下落した。これは2024年年初以降においては、最初の下降局面ではなく4回目となる。強気要因と弱気要因の両方が市場に影響を与えてきたが、以下に示すように、現在は相対的に弱気要因の方が価格動向に大きな影響を与えている。

弱気要因:

- コーヒー価格が下方へ調整される可能性があることから、これが卸売市場にシグナルとしてフィードバックされてきており、消費者は悪化するマクロ経済環境をより反映した安いコーヒーを飲むという経済的な選択をしている。米国の消費者信頼感指数は低下しており（全米産業審議委員会の消費者信頼感指数[®]は3月に7.2ポイント低下して92.9）、家計の状況も悪化している（期待指数は9.6ポイント低下して65.2となり、12年ぶりの低水準となった）。

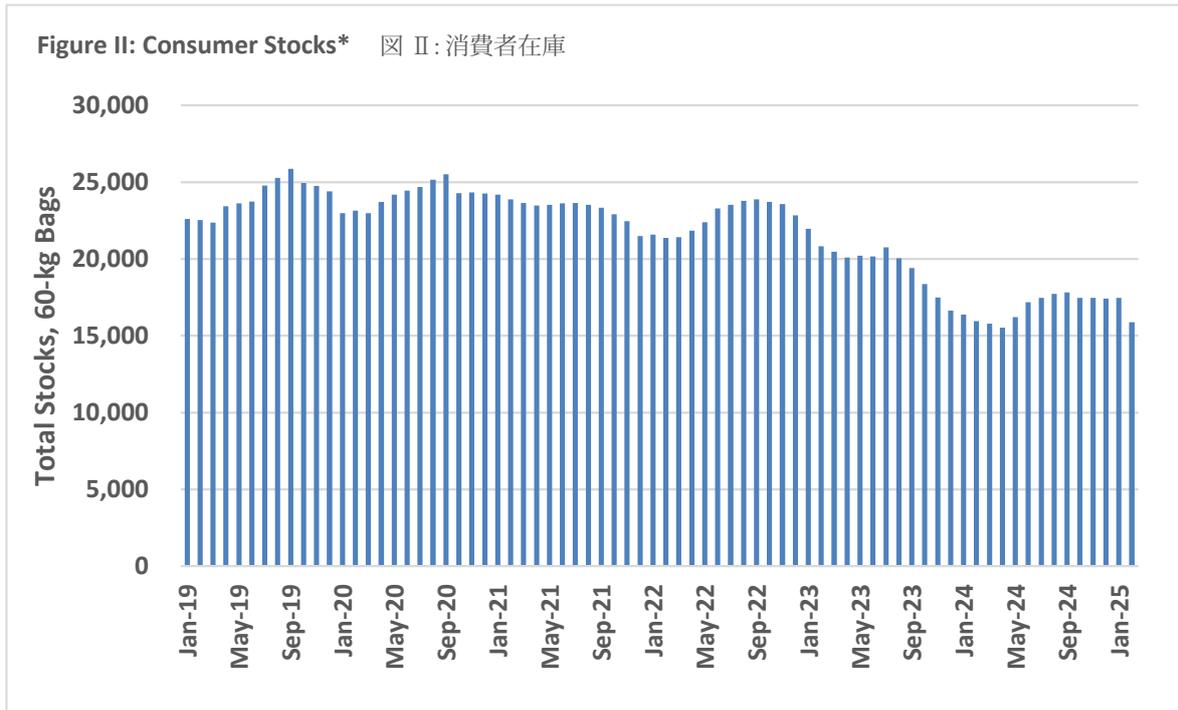
米連邦準備制度理事会（FRB）は米経済の健全性への懸念から金利を据え置き、イングランド銀行とスウェーデン国立銀行も自国経済の健全性への懸念から政策金利を据え置いた。さらに、米国フィラデルフィア連邦準備銀行の経済不安指数（図 I）は2025年第2四半期に上昇しており、消費者が外出先で支出を減らす可能性が高いことを示唆している。

- 供給状況は改善しコロンビアの生産量は2025年2月に29年ぶりの高水準に達した。
- 米国政府が最近発表した相互関税により不確実性が高まり、コーヒーの小売価格が上昇する可能性があるため、需要が弱まる可能性がある。



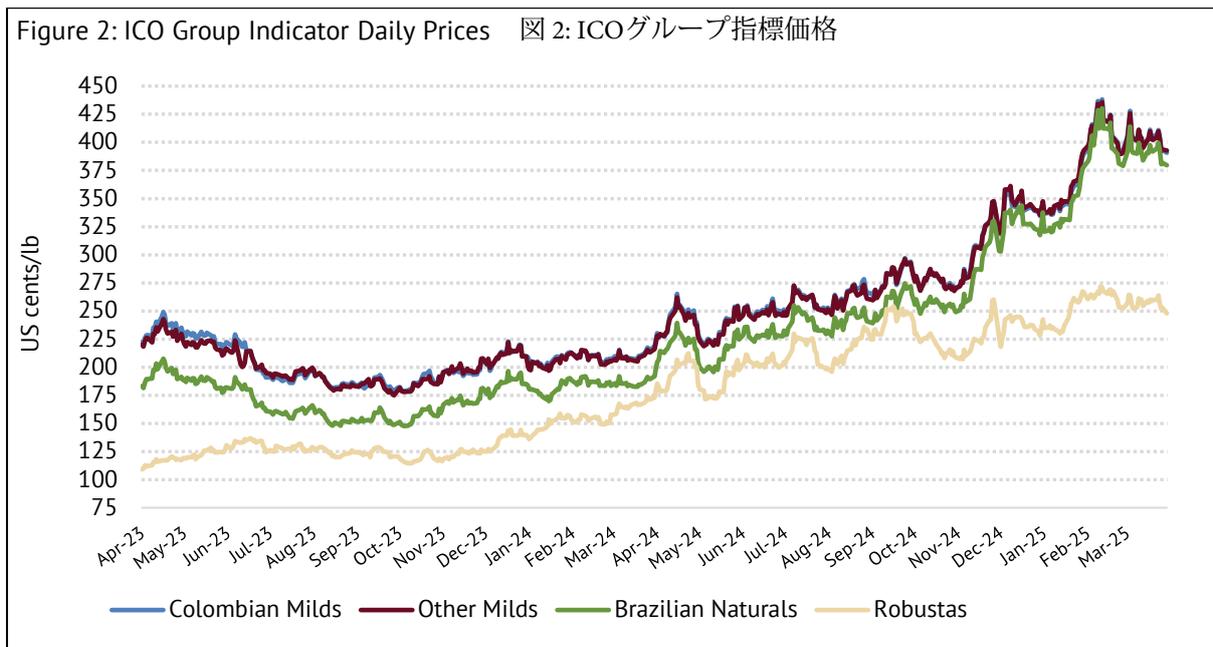
強気要因:

- 消費者在庫量は低水準かつ減少傾向にあり（図 II）、2025年2月は1,590万袋と推定され、直近のピークである2,388万袋から798万袋減少している。さらに、ブラジルの在庫は輸出量が多いことから低水準にあるとの推測があり、新年度クロープによる供給が市場に出る7月までは補充されないと見込まれている。
- ブラジルの2025/26年度収穫に対する懸念：長期気象予報では、ブラジルの冬季に霜のリスクが高まるほか、干ばつや継続的な降水量不足が示唆されている。ブラジルの2025年3月の降雨量は平年を下回り土壌水分が減少したために2025/26年度クロープの生育に対する懸念が生じている。
- イエメンでは、フーシ派が紅海の安全な航行を脅かし続けている。こうした緊迫した状況により、海上での輸送に長期間を要するコーヒーの量が増加し（その結果、目的地での供給量が減少）さらに運賃にも圧力がかかる。



*Sum of estimated European Coffee Federation, Japan, Switzerland and USA stocks.

コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、2025年2月の1.16セントから2025年3月は0.95セントに縮小した。2月から3月にかけて、コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は31.0%拡大して12.49セント、コロンビアマイルドとロブスタの価格差は0.1%縮小して147.37セントだった。また、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差、アザーマイルドとロブスタの価格差はそれぞれ37.8%と0.01%拡大して11.54セントと146.42セントだった。ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は2.3%縮小して134.87セントだった。



ロンドンとニューヨークの先物市場間で測定された2025年3月のアービトラージは0.3%拡大して135.11セントとなり2022年2月以来の最高値だった。

図3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

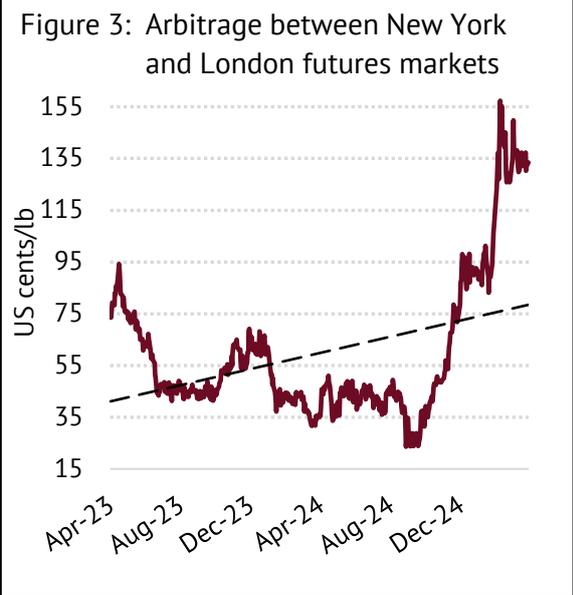
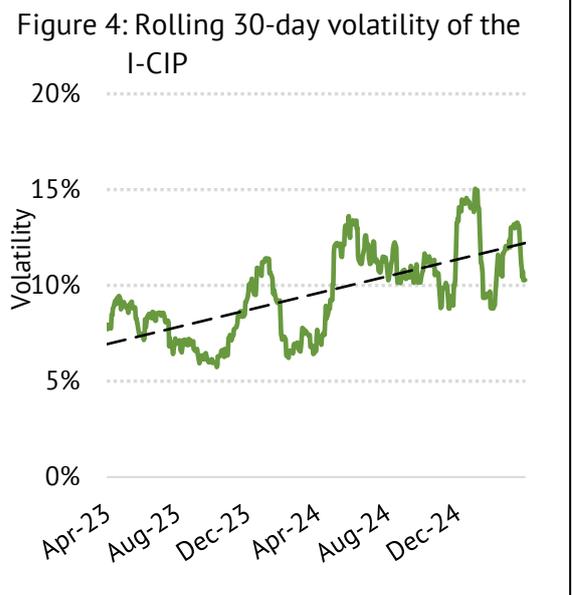
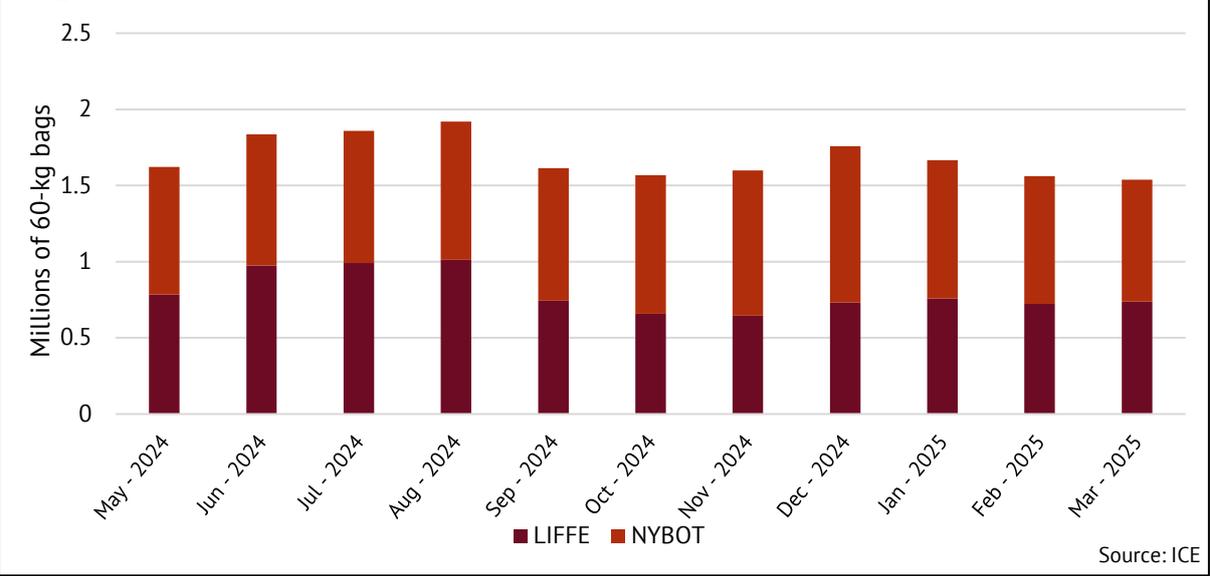


図4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



I-CIPの2025年3月のボラティリティは2025年2月に対して1.6ポイント上昇して12.3%だった。コロンビアマイルド、アザーマイルド、ブラジルナチュラルの3月のボラティリティは、それぞれ2.3ポイント、2.0ポイント、1.4ポイント上昇して、14.0%、14.0%、14.3%だった。ロブスタのボラティリティは0.1ポイント低下して9.0%だった。ニューヨーク先物市場のボラティリティは2.5ポイント上昇して15.2%、ロンドン先物市場のボラティリティも同じ傾向を示し0.7ポイント上昇して9.8%だった。

Figure 5: Certified Stocks 図5: ニューヨークとロンドンの先物市場の認証在庫



ロンドン先物市場の2025年3月のロブスタ認証在庫は、2025年2月に対して2.2%増加して74万袋だった。ニューヨーク先物市場のアラビカ認証在庫は逆方向に動きを示し、2025年2月に対して4.6%減少して80万袋だった。

相互関税

2025年4月2日21:00（グリニッジ標準時）、米国政府は大統領令により新しい関税を発表した。これは3つに分類される：

- 基準税率 - 固定 10%
- 相互税率 - 適用範囲 11% ~ 47%
- 事前課税 - 25%

基準税率は4月5日に発効し、相互税率は4月9日に発効する（その後90日間延期）。

これらの新しい関税の影響を受ける国際コーヒー機関加盟国と関税率は表 I に記載の通り。

表 I: ICO加盟国と関税率

Baseline - 10%	Reciprocal (Variable)	Pre Levy - 25%	
Exporting Members			
Bolivia	Angola 30%	Mexico	
Brazil	Cote d'Ivoire 21%		
Burundi	DRC 11%		
Cameroon	India 27%		
Central African Republic	Indonesia 32%		
Colombia	Madagascar 47%		
Costa Rica	Malawi 18%		
Cuba	Mozambique 16%		
Ecuador	Nicaragua 19%		
El Salvador	Nigeria 14%		
Ethiopia	Philippines 18%		
Gabon	Thailand 37%		
Ghana	Venezuela 15%		
Honduras	Vietnam 46%		
Kenya	Zambia 17%		
Liberia	Zimbabwe 18%		
Nepal	Importing Members		
Panama	EU 20%		
Papua New Guinea	Japan 24%		
Peru	Norway 16%		
Rwanda	Switzerland 32%		
Saudi Arabia	Tunisia 28%		
Sierra Leone			
Tanzania			
Timor-Leste			
Togo			
Yemen			
Importing Members			
UK			

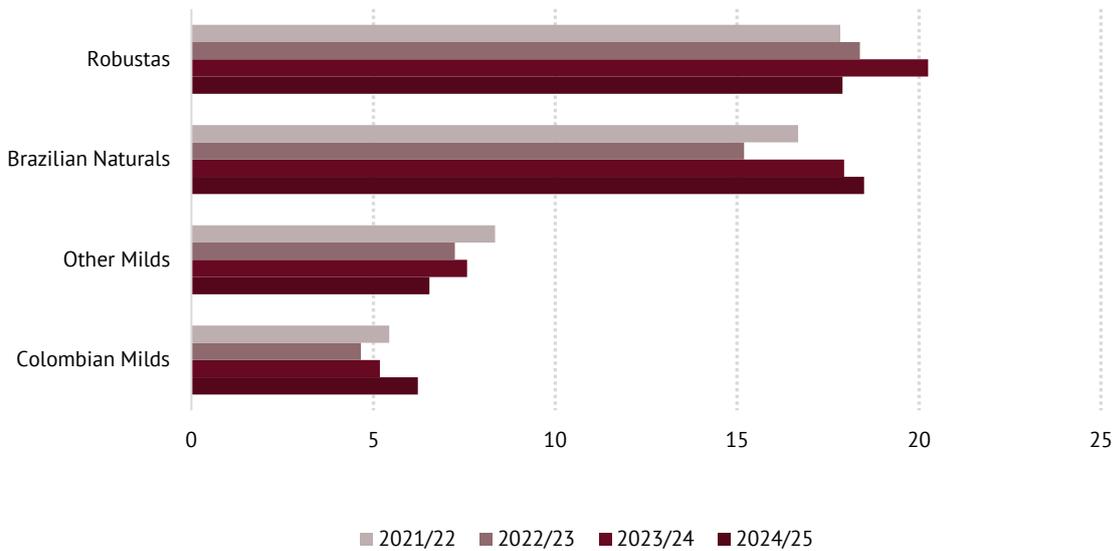
コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

2025年2月の世界のコーヒー生豆輸出量は合計1,112万袋で、前年同月の1,043万袋から6.6%増加した。2月は4つのコーヒーグループの全てで輸出量が増加したが、増加の大部分はコロンビアマイルドとロブスタの増加によるもので、どちらも2桁の増加を示した。この2つのコーヒーグループは、2月の輸出量増加に対してそれぞれ20%と66%の貢献をした。

コロンビアマイルドの2025年2月の輸出量は2024年2月の110万袋から12.5%増加して124万袋だった。これは7か月連続の輸出量増加であり、その主因はコロンビアの輸出量の2桁増加にある。コロンビアの2025年2月の輸出量は2024年2月の99万袋から12.7%増の111万袋に急増した。ケニアの2025年2月の輸出量は2024年2月の5万袋から26.7%増の6万袋だった。この大幅な増加はベース効果（反動増）によるもので、ケニアの2024年2月の輸出量は2021年から2024年までの2月の平均輸出量である6万袋に対して33.5%の減少だった。

アザーマイルドの2025年2月の輸出量は186万袋で2024年2月の184万袋から0.9%増加した。これは2024/25コーヒー年度における初の輸出量の増加であり、1月までの経過4か月の平均輸出量は前年対比18.2%の減少だった。輸出量の増加は多くの産地からもたらされ、エチオピア、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、ウガンダの主産地合計増加量は19万袋だった。これに対して輸出量が減少したのは、メキシコ、パプアニューギニア、ペルーで、これらの生産国の輸出量合計は22万袋減少した。メキシコの低迷は、輸出されるコーヒーの構成の変化と関連している。ソリュブルコーヒーの輸出が2024年初めから急増しており、2023年の月平均輸出量81,000袋が2024年には118,000袋に44.8%の増加を示した。このソリュブルコーヒーの輸出増加により、アザーマイルドを含む生豆の国内供給がソリュブルコーヒーの生産に転用され、その結果、メキシコからの生豆とアザーマイルドの輸出の減少につながっていると考えられる。パプアニューギニアの低迷は異例な状況に起因する。2024年2月の輸出は80万袋で、2021年から2024年の平均40万袋との比較では異例に大きな輸出量だった。また、ペルーの輸出は「表年」と「裏年」による生産量の隔年変動を反映している。

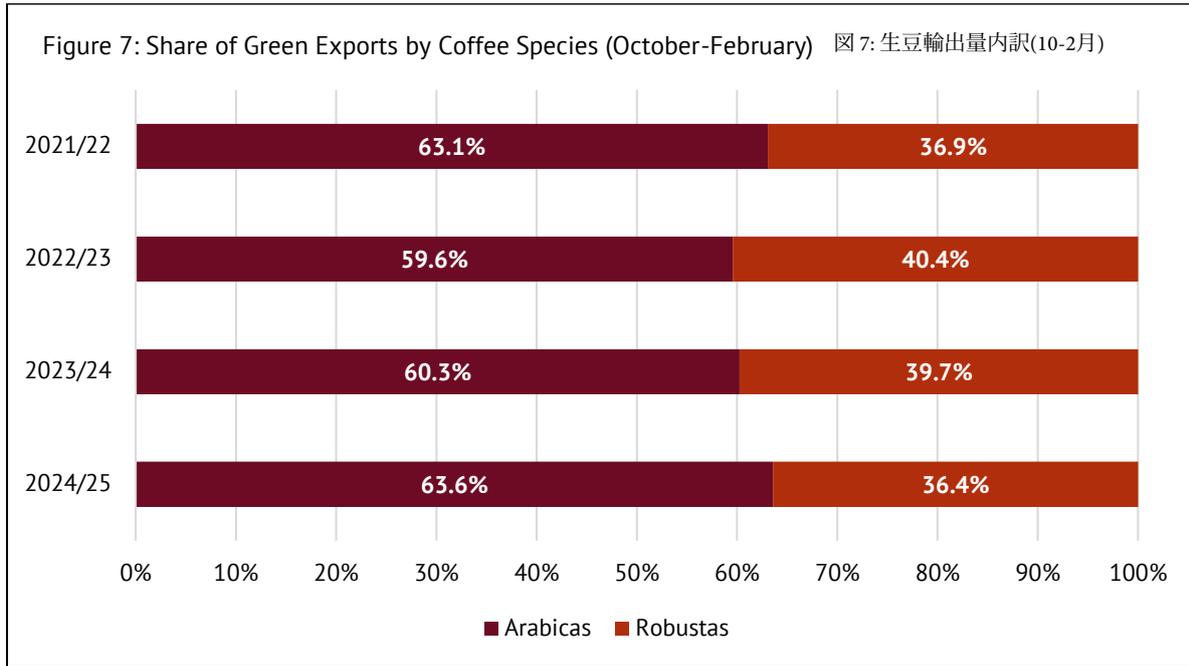
Figure 6: Green Exports by Coffee Variety (October-February) 図 6: グリーンコーヒー輸出量(10-2月)



ブラジルナチュラルの2025年2月の生豆輸出量は2024年2月の324万袋から2.5%増加して332万袋だった。この増加を主に牽引したのはエチオピアとベトナムで、その輸出量はそれぞれ42.9%と22.45%増加し、両国合計でのブラジルナチュラル増加量は9万袋だった。ベトナムにとって今回の増加は、3か月連続した輸出量減少の後のものであり、2024/25コーヒー年度のクroppがようやく国内/国際市場に供給され、ベトナムの供給状況が緩和したことを示しているようだ。ブラジルの輸出量は、新コーヒー年度（2024/25）当初、8.1%増の好調なスタートを切ったが、その後は平凡な実績に終始し現状は2023/24コーヒー年度の1,574万袋に対して1.5%増の1,598万袋である。2025年2月の輸出量は、2024年2月の277万袋に対して1.3%減少して274万袋だった。これは、前年度同時期が18.2%増加だったのとは際立って対照的だ。しかし、2024/25コーヒー年度の経過5か月間の輸出量が、期間の実績としては過去2番目に多く、2020/21コーヒー年度の1,766万袋に次ぐ記録であるという事実もまた明らかだ。エチオピアに関しては、輸出の増加が、価格高騰に起因して発生した追加供給が市場に流入したことや、生産の向上に関連している可能性がある。Sucafina社は2025年2月中旬、エチオピアの2024/25コーヒー年度収穫量は前年比50万袋の増加と見積もっている。

ロブスタの2025年2月の生豆輸出量は2024年2月の425万袋から10.7%増加して471万袋だった。2桁の増加率を牽引したのはインドネシアとベトナムで、それぞれ2024年2月の15万袋と254万袋から、2025年2月は39万袋と312万袋へと170%と22.8%増加した。高い伸び率はベース効果（反動増）によるものであり、増加基調は2024/25コーヒー年度の収穫が始まっていることを反映している。インドネシアでは、2024年2月のロブスタ輸出量は15万袋で、2007/08コーヒー年度に記録された過去最低の13万袋以来の低水準だった。

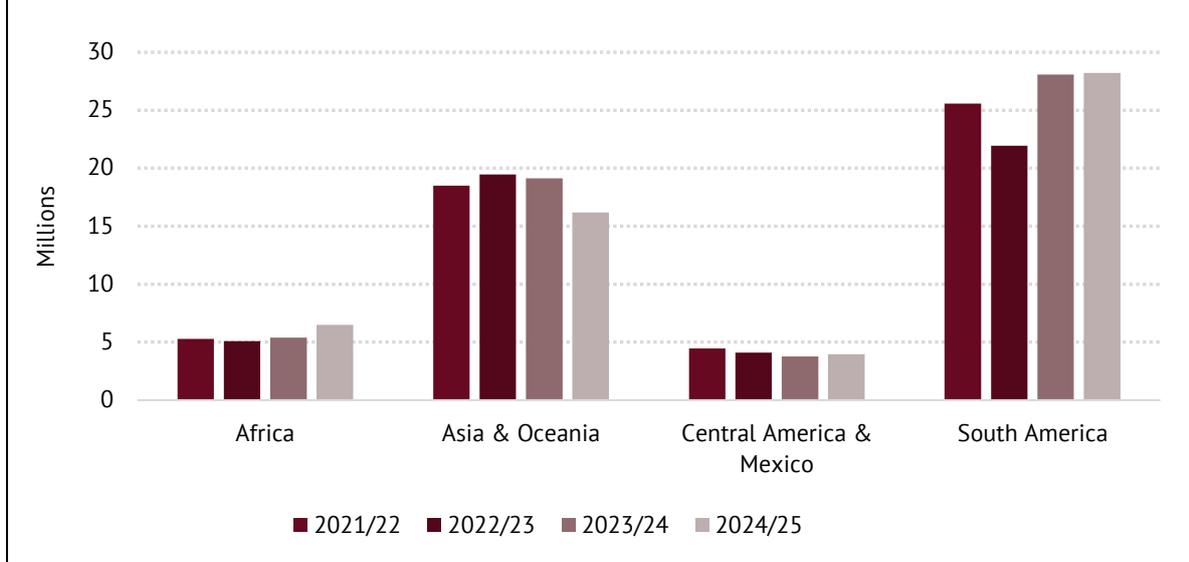
2024/25コーヒー年度の経過5か月（2025年2月まで）の生豆輸出量に占めるアラビカのシェアは、前年度同時期の60.3%から63.6%へと大幅に増加した。



地域別のコーヒー輸出量 - 全形態

世界のコーヒー輸出量は2024年2月の1,135万袋から2025年2月は1,223万袋へと7.8%増加した。しかし、2024/25コーヒー年度の累計輸出量は、前年度同時期の5,636万袋から5,486万袋へと2.7%減少している。4地域のうち3地域で輸出量が拡大したが、南米地域のみ低迷し2025年2月の輸出量は458万袋で2024年2月の493万袋から6.9%減少した。アジア・オセアニア地域は増加の原動力で、2025年2月の輸出増加量は86万袋、21.7%増の481万袋となった。2大輸出地域の相反する輸出動向により、2025年2月はアジア・オセアニア地域が総輸出量の39.3%で最大シェアを占め、南米地域が37.5%で2位となった。2つの地域の順位が入れ替わったが南米地域が2位になったのは2023年6月以来である。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-February) 図 8: 生産地域別輸出量 (10-2月)



アジア・オセアニア地域の2025年2月の輸出量は2024年2月の395万袋から21.7%増加して481万袋だった。インドネシアとベトナムがこの増加を牽引し、両国の輸出増加量は合計104万袋となり、2025年2月時点の地域全体の純増86万袋に寄与した。ベトナムの2025年2月の輸出量は2024年2月の273万袋から22.8%増加して336万袋だった。これは、単月輸出量が25%減少するなど12ヶ月にわたる輸出低迷を経た後のことだ。この回復はベトナムの輸出環境の好転、そして2024/25コーヒー年度の収穫がようやく国際市場への供給再開の兆しと見られる。インドネシアの2025年2月の輸出量は2024年2月の33万袋から126.9%増加して74万袋だった。高い増加率は、ベース効果（反動増）と「表年」と「裏年」の影響を反映している。2024年2月の輸出量は、2012年に31万袋が輸出されて以来、12年間で2月の輸出量としては最低だった。さらに、特にロブスタの記録的な高価格に対応して放出された追加供給も、2025年2月の輸出量が2月としては過去最高となったことを説明する要素と言えるだろう。インドは地域輸出量の減少要因で2025年2月の輸出量は2024年2月の74万袋から19.6%減少して59万袋だった。この不振は「裏年」と「表年」による生産量の隔年変動に関係しており、2024/25年のコーヒー生産年は「裏年」であることから結果として輸出量が減少することになった。

アフリカ地域の2025年2月の輸出量は2024年2月の110万袋から20.6%増加して133万袋だった。これは15か月連続の輸出量増加であり、2025年2月の輸出量は1997年の146万袋以降で最大だった。さらに2024/25コーヒー年度の経過5か月累計は598万袋で、過去最大の輸出量599万袋が輸出された1996/97年度以来、最高のスタートとなっている。2025年2月の地域輸出量増加を牽引したのはエチオピアとウガンダで、両国の輸出量はそれぞれ41.9%と27.9%増加して44万袋と56万袋だった。ウガンダコーヒー開発局は、この2桁増加は国際的な高価格が輸出業者に在庫の放出を促しているためだとしている。エチオピアに関しては、前年比で豊作だったことが輸出の力強い伸びの背景にある。

南米地域の2025年2月の輸出量は2024年2月の493万袋から6.9%減少して458万袋だった。これは14か月連続した輸出量増加の後に反転し、3か月連続の減少となっている。この落ち込みはブラジルによるもので、ブラジルの2025年2月の輸出量は9.6%減少して329万袋となり、この要員としてベース効果（反動減）と輸出向け在庫の不足という2つが考えられる。（現地クロープイヤー2024/25年度の）2024年4月から2025年2月までの11か月間にブラジルは4,500万袋を輸出した。これは11か月間の輸出量としては過去2番目に大きい水準であり、2020/21年度（現地クロープイヤー）の同時期に輸出された4,620万袋に次ぐものだ。

メキシコ・中央アメリカ地域の2025年2月の輸出量は2024年2月の136万袋から10.6%増加して151万袋だった。グアテマラは2024年の27万袋から2025年2月には24.6%増加の34万袋を輸出して地域の輸出量増加を牽引した。コスタリカ、ホンジュラス、ニカラグアは、2025年2月に合計7万袋の輸出量増加となり地域の輸出量増加に貢献した。一方、メキシコの輸出量は2024年2月の21万袋から9.2%減少して19万袋となり主な減少要因だった。

形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの輸出量は、2024年2月の86万袋から2025年2月は21.5%増加して105万袋だった。

ソリュブルコーヒーのコーヒー総輸出量に占める割合は、2024/25コーヒー年度経過5か月（2025年2月まで）で9.9%で2023/24年度同時期の9.1%から増加した。ソリュブルコーヒーの最大輸出国はブラジルで2025年2月の輸出量は29万袋だった。

焙煎豆の輸出量は、2024年2月の51,403袋から2025年2月は23.8%増加して63,658袋だった。

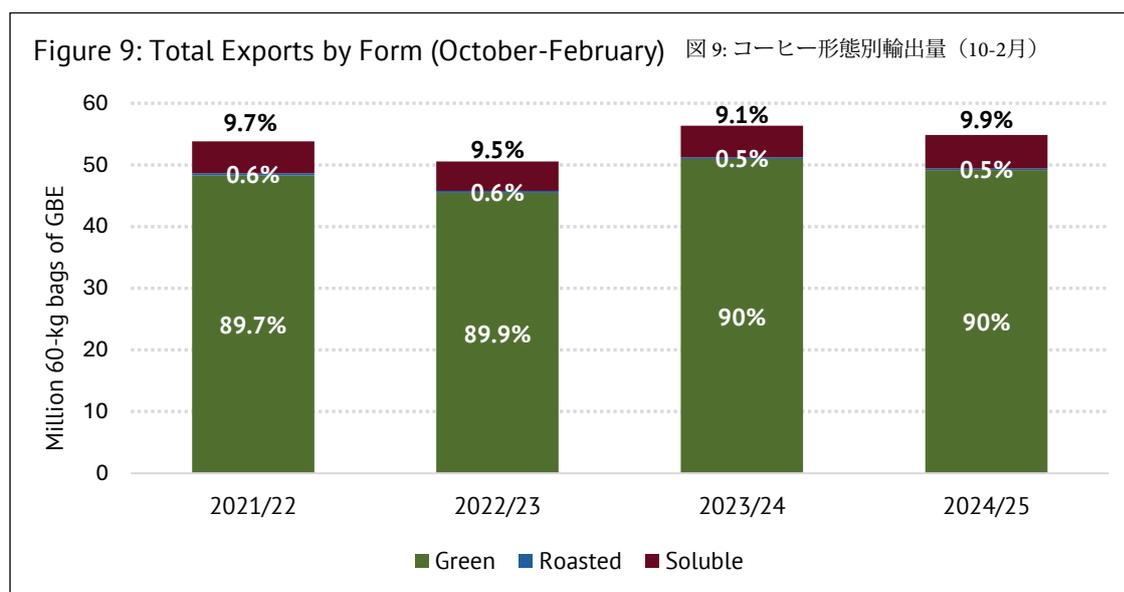


表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Apr-24	216.89	241.80	239.73	218.77	193.65	217.97	176.04
May-24	208.38	233.50	232.11	209.78	184.97	208.86	165.11
Jun-24	226.83	250.39	248.39	229.25	204.30	226.47	182.82
Jul-24	236.54	257.82	257.10	239.70	214.72	235.15	193.93
Aug-24	238.89	263.67	261.38	242.15	214.69	239.29	197.81
Sep-24	258.84	279.27	278.52	257.24	241.93	254.43	225.13
Oct-24	250.56	277.10	276.82	255.85	221.93	250.62	207.11
Nov-24	270.72	306.21	304.98	285.59	226.11	277.04	214.43
Dec-24	299.61	341.00	343.34	326.97	236.73	317.00	226.28
Jan-25	310.12	351.93	354.47	339.18	245.29	328.94	234.33
Feb-25	354.32	410.64	409.48	401.10	263.08	388.18	253.48
Mar-25	347.85	404.97	404.02	392.48	257.61	382.75	247.63
% change between Feb-25 and Mar-25							
	-1.8%	-1.4%	-1.3%	-2.1%	-2.1%	-1.4%	-2.3%
Volatility (%)							
Feb-25	10.7%	11.7%	12.0%	12.9%	9.1%	12.7%	9.1%
Mar-25	12.3%	14.0%	14.0%	14.3%	9.0%	15.2%	9.8%
Variation between Feb-25 and Mar-25							
	1.6	2.3	2.0	1.4	-0.1	2.5	0.7

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Apr-24	2.07	23.03	48.14	20.96	46.07	25.11	41.93
May-24	1.39	23.72	48.53	22.33	47.14	24.81	43.74
Jun-24	2.00	21.13	46.08	19.13	44.08	24.95	43.65
Jul-24	0.72	18.12	43.10	17.40	42.38	24.98	41.21
Aug-24	2.29	21.53	48.98	19.24	46.69	27.45	41.48
Sep-24	0.75	22.03	37.34	21.28	36.60	15.31	29.30
Oct-24	0.28	21.25	55.17	20.97	54.89	33.92	43.50
Nov-24	1.24	20.62	80.10	19.38	78.87	59.48	62.60
Dec-24	-2.34	14.03	104.27	16.37	106.61	90.24	90.72
Jan-25	-2.54	12.75	106.64	15.30	109.18	93.88	94.60
Feb-25	1.16	9.54	147.56	8.37	146.40	138.03	134.70
Mar-25	0.95	12.49	147.37	11.54	146.42	134.87	135.11
% change between Feb-25 and Mar-25							
	-18.2%	31.0%	-0.1%	37.8%	0.0%	-2.3%	0.3%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
PRODUCTION	169.8	168.4	170.8	168.0	168.2	178.0	5.8%
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
CONSUMPTION	171.2	168.6	169.9	176.6	173.1	177.0	2.2%
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
BALANCE	-1.3	-0.2	0.9	-8.6	-4.9	1.0	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	Feb-24	Feb-25	% change	Year to Date Coffee Year		
				2023/24	2024/25	% change
TOTAL	11,346	12,234	7.8%	56,358	54,856	-2.7%
Arabicas	6,672	7,043	5.6%	33,613	34,515	2.7%
<i>Colombian Milds</i>	1,168	1,318	12.8%	5,535	6,647	20.1%
<i>Other Milds</i>	2,094	2,139	2.1%	8,799	7,893	-10.3%
<i>Brazilian Naturals</i>	3,409	3,586	5.2%	19,280	19,975	3.6%
Robustas	4,674	5,191	11.1%	22,745	20,341	-10.6%

In thousand 60-kg bags

表 5: ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Apr-24	May-24	Jun-24	Jul-24	Aug-24	Sep-24	Oct-24	Nov-24	Dec-24	Jan-25	Feb-25	Mar-25
New York	0.64	0.84	0.86	0.87	0.91	0.87	0.91	0.95	1.03	0.91	0.84	0.80
London	0.63	0.78	0.97	0.99	1.01	0.74	0.66	0.65	0.73	0.76	0.72	0.74

In million 60-kg bags